技能章・研究ノート

野 営 章

※技能章・研究ノート活用については、「技能章・研究ノートについて」を参照

参考書籍：技能章ガイドブック　野営章

指導者のためのスカウト・キャンプ

　　　　　スカウトハンドブック

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

松山地区　　　　　第　　　団

氏名

 (1)入団以来通算10泊以上のキャンプ(3泊以上のキャンプに2回参加したことを含むこと、また、自分が計画した班キャンプを含むことができる)に参加していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 泊数 | 場所 | 参加人数 | 活動内容 |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |  |  |  |  |

上記の通り参加したことを証明する　隊長サイン

 (2)キャンプ地を選ぶときの基本的条件と自然環境を保護するための注意点を説明し、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する。

・キャンプ地を選ぶ基本的条件

ｽｶｳﾄﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ野営章P.8以下『野』と略す、指導者のためのｽｶｳﾄ・ｷｬﾝﾌﾟP.12～14

|  |
| --- |
|  |

・自然環境を保護するための注意点　　　　　　　　　　　　　　　　　　野P.8～10

|  |
| --- |
|  |

・理想的な班サイトの設計図(配置図)　　　　　　　　　　　　　　　　野P.14～15

|  |
| --- |
|  |
| 構築日：　　　　　　　　場所：　　　　　　　　証明者サイン： |

(3)家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを3種類以上張り，特徴，用途を説明できること。

野P.11～12、、指導者のためのスカウト・キャンプP.20～37

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| テント種類 | 特徴 | 用途 | 張った日・証明サイン |
| 家型テント |  |  | 　　年　　月　　日 |
| ドーム型テント |  |  | 　　年　　月　　日 |
|  |  |  | 　　年　　月　　日 |

(4)フライ付き家型テントを正しく張り，昼と夜，晴天と雨天，強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱，ソドクロス，換気窓，扉の取り扱い、乾燥作業ができること。また，ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができること。

野P.13、15～36

|  |
| --- |
| フライ付き家型テント |
| 部位 | 昼と夜 | 晴天と雨天 | 強風時 |
| 綱の張り方 |  |  |  |
| 支柱の取り扱い |  |
| ソドクロスの取り扱い |  |
| 換気窓の取り扱い |  |
| 扉の取り扱い |  |
| 乾燥作業 |  |
| 実施場所年月日 | 年　　月　　日 | 証明者サイン |  |

野P.36～38

|  |
| --- |
| ドーム型テント |
| 部位 | 昼と夜 | 晴天と雨天 | 強風時 |
| 綱の張り方 |  |  |  |
| 強風時の対策 |  |
| 雨天時の対策 |  |
| 乾燥作業 |  |
| 実施場所年月日 | 年　　月　　日 | 証明者サイン |  |

(5)木，竹などの材料を用い，正しい結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること。　　　　　　　　　　　　　野P.38～42

|  |  |
| --- | --- |
|  | 図・写真 |
| 名称 | 立ちかまど |  |
| 製作年月日 | 　　　年　　月　　日 |
| 製作場所 |  |
| 使用結索 |  |
| 証明者サイン |  |
| 名称 |  |  |
| 製作年月日 | 　　　年　　月　　日 |
| 製作場所 |  |
| 使用結索 |  |
| 証明者サイン |  |
| 名称 |  |  |
| 製作年月日 | 　　　年　　月　　日 |
| 製作場所 |  |
| 使用結索 |  |
| 証明者サイン |  |

(6)キャンプの衛生について，次の各項にわけて説明ができること。

ア　湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法

野P.28～31、34～36、43～47、ハP.264、265、276、278

イ　寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由

野P.55、56

ウ　キャンプサイトにハエを発生させないための対策

野P.56～59

|  |
| --- |
| ア　湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法 |
| イ　寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由 |
| ウ　キャンプサイトにハエを発生させないための対策 |

(7)夜の野営地における正しい明かりの取り方を理解していること。また，ホワイトガソリン・灯油・ガス・乾電池を使用するキャンピング灯火を3種類以上使用した経験があり，取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取り扱いが説明できること。

夜の野営地における正しい明かりの取り方

|  |
| --- |
|  |

キャンピング灯火　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　野P.59～60

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 種類 | 使用日証明者サイン | 注意事項 | 特徴 | 手入れ方法 |
|  | 　　年　　月　　日 |  |  |  |
|  | 　　年　　月　　日 |  |  |  |
|  | 　　年　　月　　日 |  |  |  |

炊事用コンロの正しい取り扱い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　野P.61～62

|  |
| --- |
|  |

(8)2泊以上のキャンプに必要な個人携行品を身につけて点検を受けること。

スカウトハンドブックを略して『ハ』

個人携行品リスト　　　ハP.260～623、292～293、指導者のためのスカウト・キャンプP.63～68

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品目 | 個数 | 品目 | 個数 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

バックパッキングの図または留意点　　　　　　　　　　　　　　　　　ハP.79～81

|  |
| --- |
|  |

点検したことを証明する　　　　年　　月　　日　証明者サイン

(旧野営章)ローソクを使用するキャンピング灯火を使用した経験

(旧野営章)キャンプの衛生について，次の各項にわけて説明ができること。

イ　便秘と水の飲みすぎの害とその防ぎ方

野P.47～50、救P.66、184～185

ウ　日射病の予防法と害虫の駆除法

野P.50～55、野管P.31～38、救P.57～68、133～152

エ　昼間着た下着を着けたまま床に入らぬ理由

野P.55